



# 山陰西部国道事務所 事業概要 2021



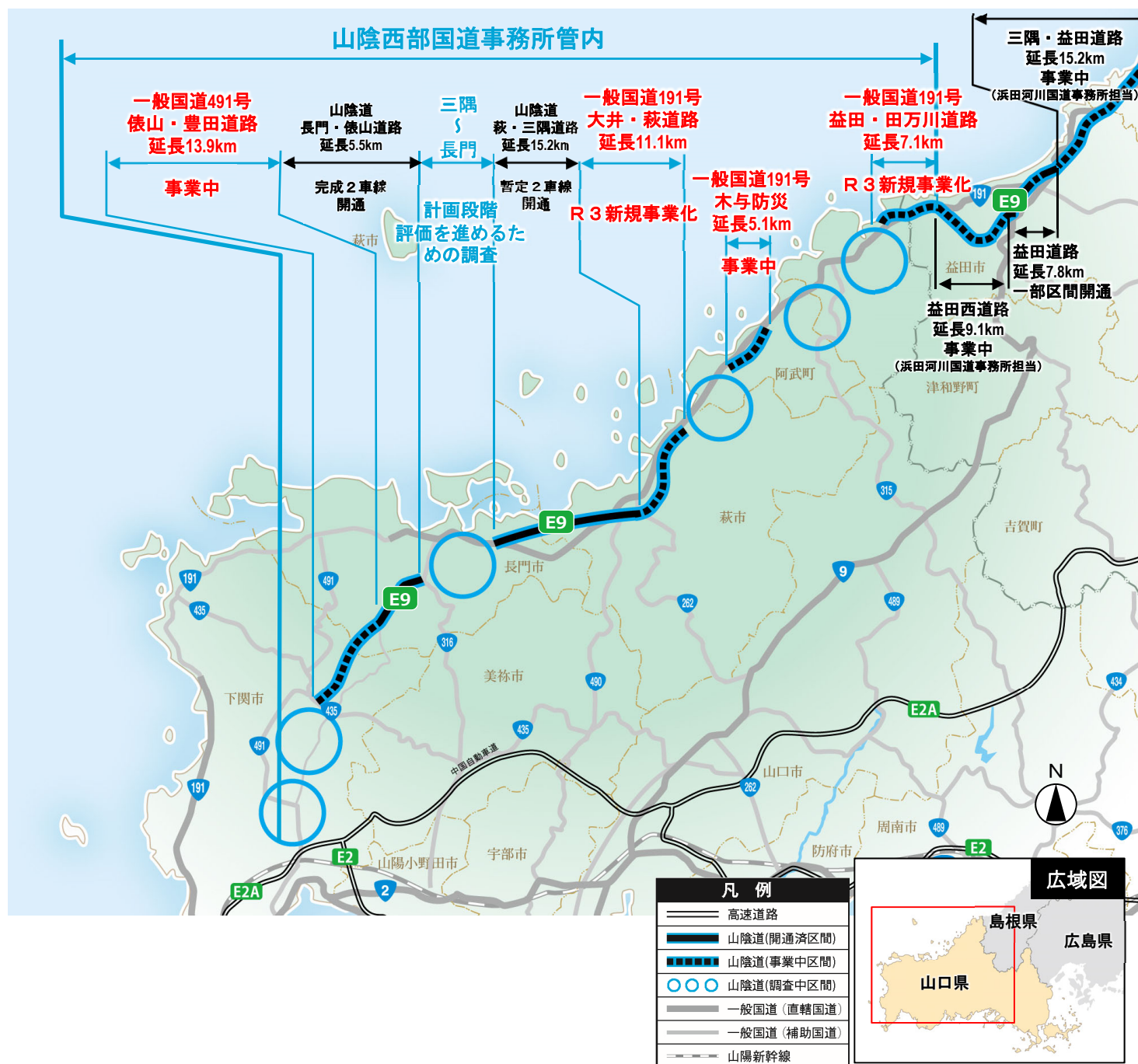


# 事務所の紹介

山陰西部国道事務所は山陰道の現場に近いメリットを活かし、地域の方々と連携し、整備をより一層強力に推進するため、令和2年度より新たに山口県萩市に開設されました。

管轄する区間は島根県益田市以西の山陰道の整備であり、道路計画、環境影響評価、調査設計、用地取得、改築工事を担当します。

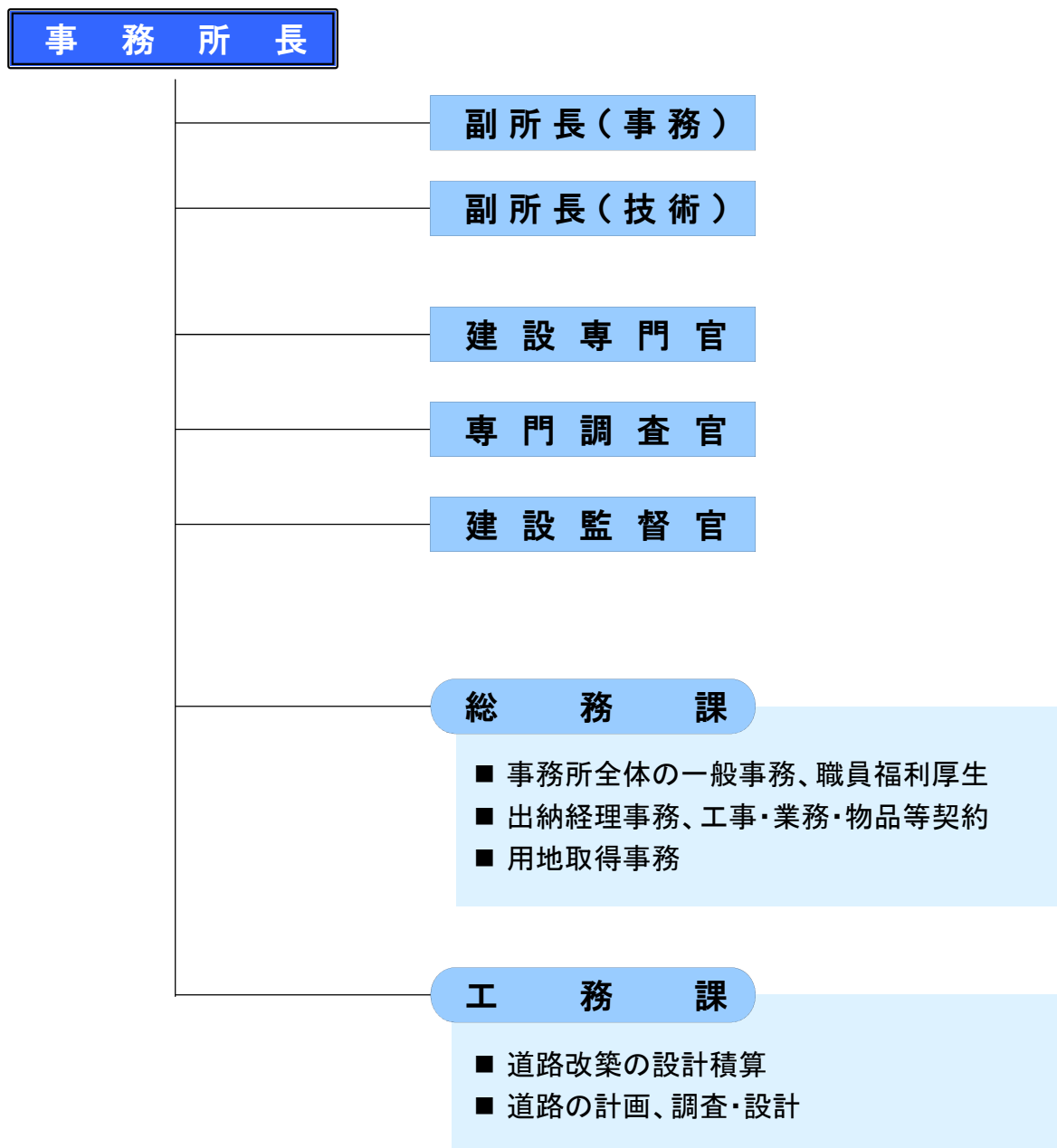
## 山口県・島根県西部の山陰道



※ 山陰道 萩・三隅道路は、国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所が整備、維持管理を行っています。

※ 山陰道 長門・俵山道路は、権限代行制度に則り国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所が整備したもので、道路の維持管理は山口県が行っています。

## 組織と役割



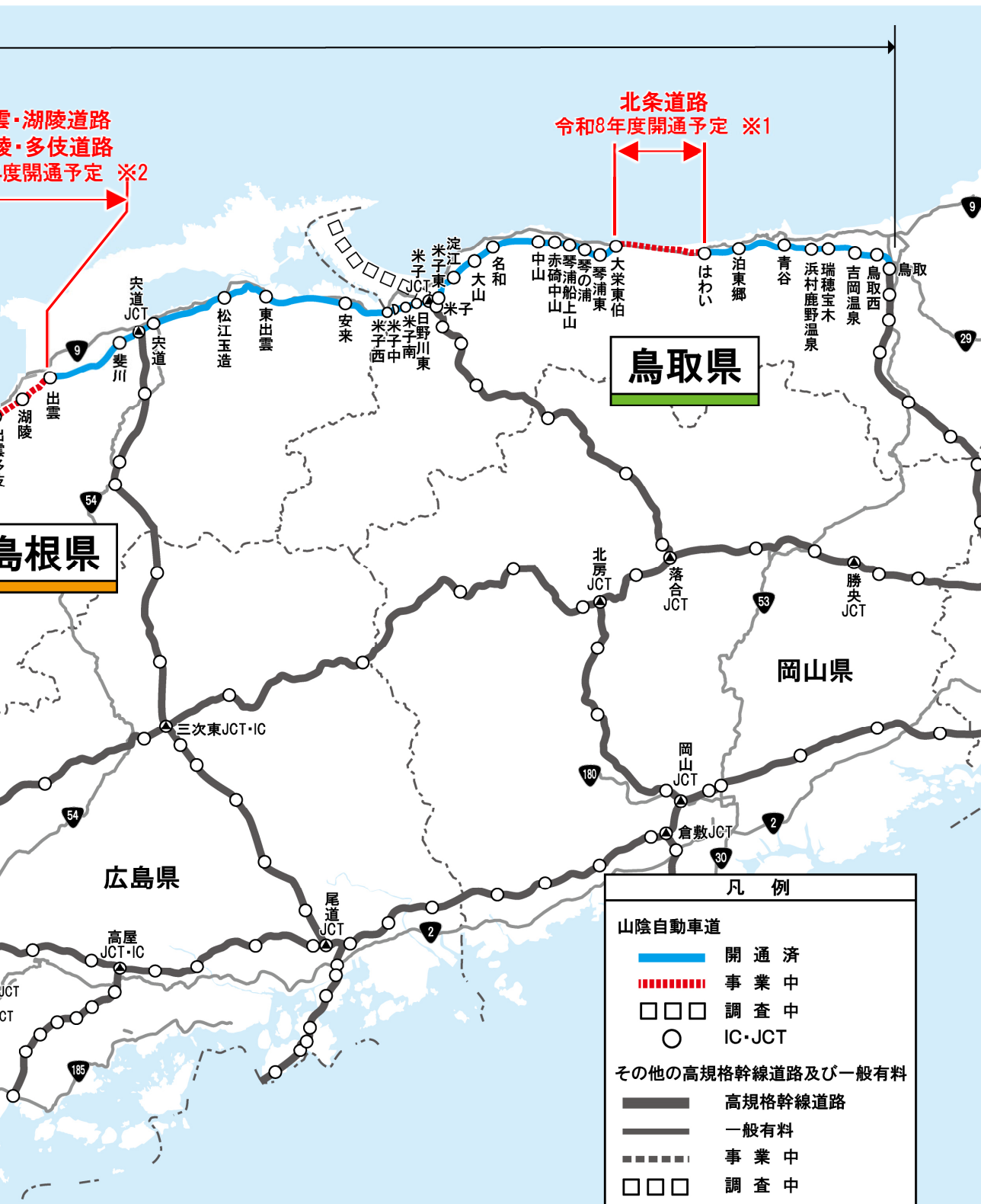




## ■ 山陰道の整備進捗率

	全体	山口県	島根県	鳥取県
全体延長	約380km	約115km	約180km	88km
開通済延長	208km(55%)	20km(17%)	113km(63%)	75km(85%)
事業中延長	107km(28%)	33km(29%)	60km(33%)	14km(15%)

( )内は全体延長に対する比率  
令和3年4月1日時点



令和3年4月1日時点

※事業中・調査中区間のIC名は仮称を含みます。

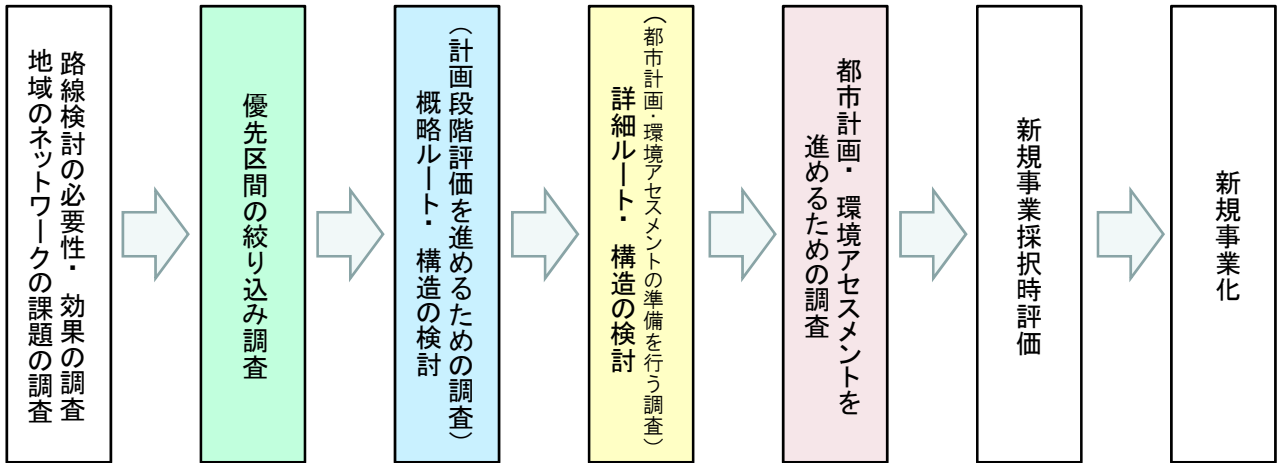
※1 用地買収・埋蔵文化財調査及び大規模橋梁工事・軟弱地盤対策工事等が順調に進捗した場合の開通予定です。

※2 トンネル工事・大規模橋梁工事・軟弱地盤対策工事等が順調に進捗した場合の開通予定です。

※3 地域の皆様の協力を得ながら用地買収を進め、一定の用地進捗が図られた段階で開通予定を公表します。

## 道路調査の流れ

客観的かつ合理的な道路計画を策定するために、段階を踏んで様々な調査を行っています。

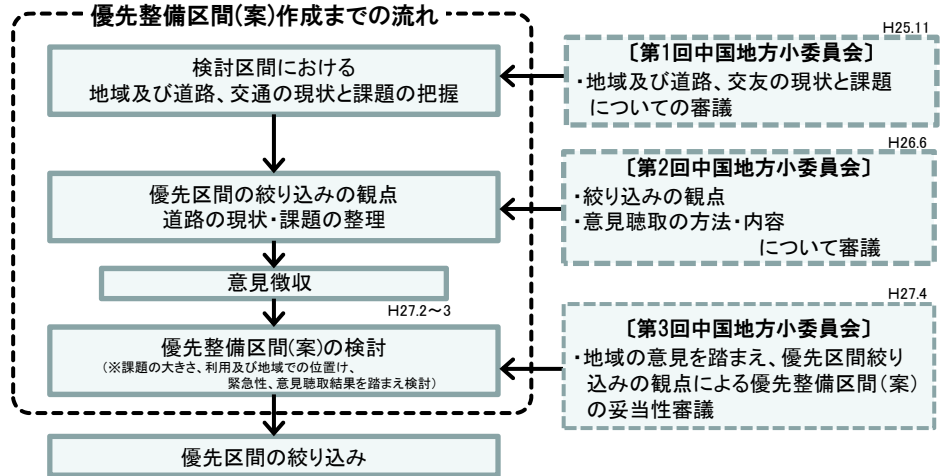


## 優先区間の絞り込み手続き

### 優先区間の絞り込み手続きとは

「優先区間の絞り込み」手続きは、道路の課題等を把握した上で、特に課題が大きく緊急性が高い区間について、整備を優先的に取り組む区間として決定する手続きです。特に、延長が長い路線においては、整備による早期の効果発現のためには、優先的に取り組む区間を設定して整備を進めることが有効です。

山陰西部地域の山陰道では、平成25年11月から平成27年4月にかけて「社会資本整備審議会 道路分科会 中国地方小委員会」において、優先区間の絞り込みに向けて審議を行いました。



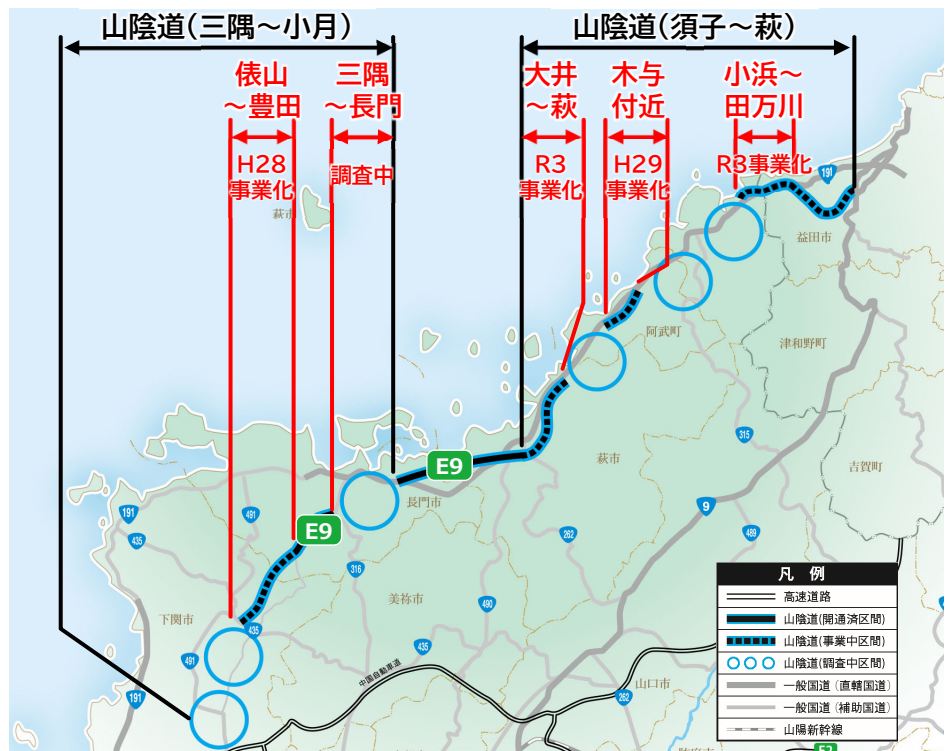
※上記フローは山陰西部地域の山陰道の優先区間の絞り込みの流れであり、路線・区間によって委員会名称、実施回数等は変わります。

### 山陰西部地域の山陰道の優先区間

山陰西部地域の山陰道は、検討を開始した平成25年当時に開通していた萩・三隅道路を中心に2つに分けた須子～萩および三隅～小月のそれぞれについて優先区間を検討し、小浜～田万川、木与付近、大井～萩、三隅～長門、俵山～豊田の5区間を選定いたしました。

このうち4区間は、益田・田万川道路、木与防災、大井・萩道路、俵山・豊田道路として事業化されており、残りの1区間である三隅～長門は事業化に向けた調査が進められています。

## 山陰道の優先区間



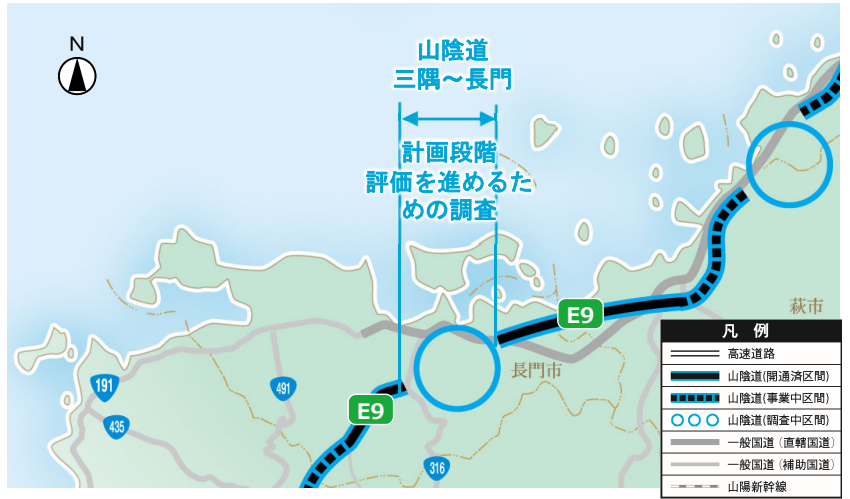


# 計画段階評価

## 計画段階評価とは

公共事業の効率性およびその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、新規事業採択時の評価の前段階(計画段階)において、地域の課題や達成すべき目標、地域の意見等を踏まえ、複数の比較・評価を行うとともに、事業の必要性および事業内容の妥当性を検証する取り組みです。

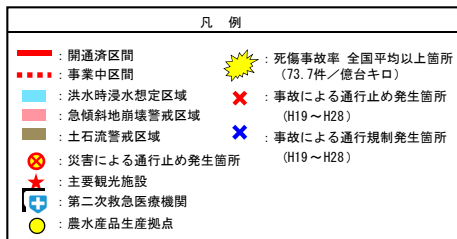
## 計画段階評価実施区間



## 山陰道(三隅～長門)

山口県長門市三隅中～山口県長門市深川湯本間は、信号の多い市街地部で、多発する事故が課題となっています。また、洪水時の浸水や土砂災害による通行止めが発生した場合、緊急活動に支障をきたすことが懸念されています。

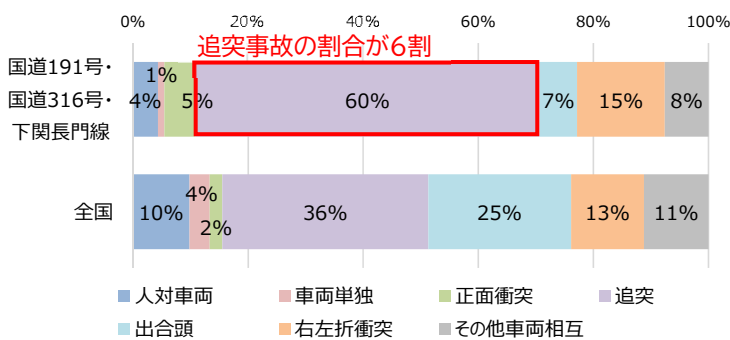
このような課題を解決するため、平成29年度より、計画段階評価に着手しています。



## 交通事故の状況

- 対象区間には、全国平均死傷事故率(73.7件/億台キロ)を上回る箇所が多数存在。
- 全国平均に比べ、追突事故の割合が多い。

### ▼三隅～長門間における死傷事故の発生状況



資料: ITARDAデータ(H24～H27)  
 全国: 平成27年における交通事故の発生状況(警察庁交通局)

## 災害時の懸念

- 主要幹線道路沿いに土砂災害警戒区域や洪水時浸水想定区域が存在しており、防災上脆弱である。
- 長門市内に向かう道路網の多重性は低い。



▲ 国道316号における被災状況(通行止め:4日間)  
 (H22.7.14 長門市湯本四ノ瀬)



▲ 国道316号における事故発生状況  
 (H22.9.16 長門市深川湯本)



▲ 国道191号・316号における被災状況(冠水時間:2時間)  
 (H27.8.25 正明市交差点)



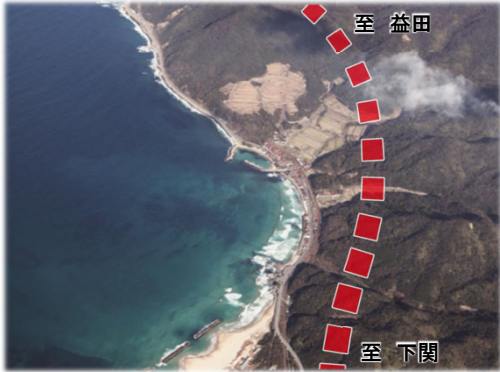
# 事業中区間

国道  
191  
ROUTE

## 木与防災

国道191号の事前通行規制区間を回避し、緊急時の代替路を確保することを目的とした阿武郡阿武町木与から同町宇田に至る延長5.1kmの道路です。

令和3年度は調査設計、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を推進します。



### 計画概要

起点	阿武郡阿武町木与
終点	阿武郡阿武町宇田
延長	5.1km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線

### 事業経緯

事業化年度	平成29年度
用地着手年度	平成30年度
工事着手年度	令和元年度

### 地域の課題

木与地区は海に面した山頂まで切り立った急峻な斜面が広がっており、国道191号では土砂災害により通行止めが多発しています。

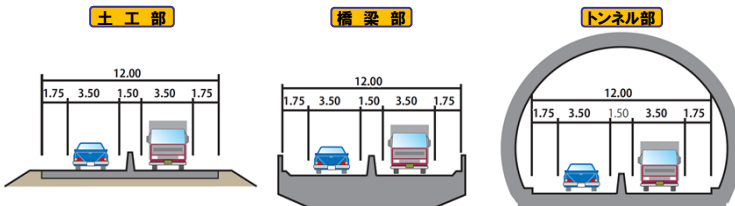
恒久対策は施工上や維持管理上困難であるため、災害時にも信頼性が確保された道路の整備が求められる状況です。



平成23年土砂崩壊の状況

### 標準断面図

(単位:m)



### 位置図



### 期待される効果 災害時に信頼性の高い道路を確保

近年、台風・豪雨などの災害が発生していますが、ひとたび道路が寸断されると地域の生活や物流活動に多大な支障をきたします。

災害に強い道路が整備されることで、平常時・災害時を問わず地域の生活や経済活動の継続を保つことが期待されます。

### 国道191号木与地区の災害状況



平成23年通行止め状況



昭和55年土砂崩壊の状況



# 俵山・豊田道路

一般国道491号俵山・豊田道路は、広域観光連携の強化、第3次救急医療機関へのアクセス改善、下関～長門間の代替路の確保を目的とした、下関市豊田町八道から長門市俵山小原に至る延長13.9kmの自動車専用道路です。

令和3年度は調査設計、用地取得、改良工事、橋梁工事を推進します。

## ■計画概要

起点	下関市豊田町八道
終点	長門市俵山小原
延長	13.9km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線

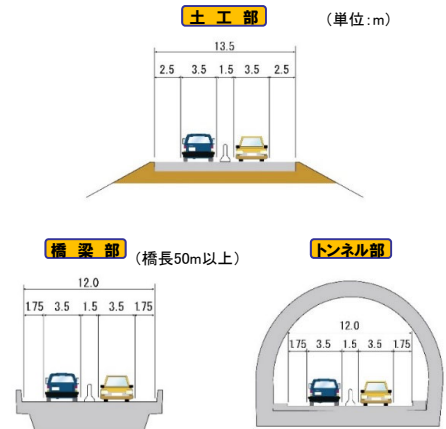
## ■事業経緯

事業化年度	平成28年度
用地着手年度	平成30年度
工事着手	令和元年度

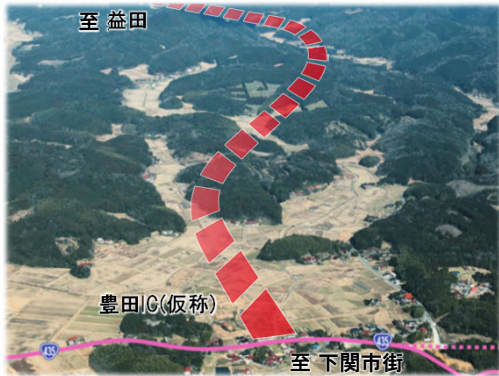
## ■地域の課題

並行する現道は急カーブが連続し、道幅の狭い区間があるなど道路構造上の問題を抱えており、道路の安全性・走行性の向上が課題となっています。

## ■標準断面図



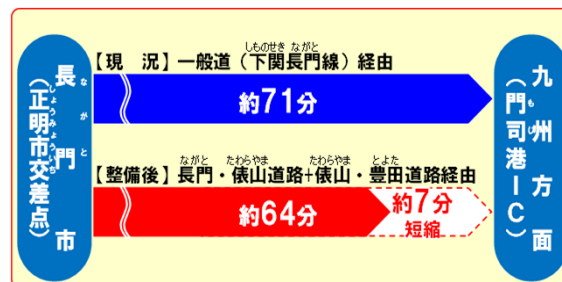
## 並行現道における道幅の狭い区間



## ■位置図



## 期待される効果 九州方面とのアクセス強化による地域産業の活性化



高速道路ネットワークが延伸することで、山陰西部地域と九州方面とのアクセス性が向上します。

これにより、イカ・真アジなどの地元特産品の販路拡大や、九州方面の観光施設との広域連携の強化などが実現することで、地域産業の活性化が期待されます。

資料)平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を基に算出  
 注)長門・俵山道路の旅行速度はETC2.0プローブデータ(R2.2～R2.8)  
 注)一部市道部の旅行速度は30km/h  
 注)俵山・豊田道路開通後の旅行速度は70km/hを設定



# 益田・田万川道路 R3新規事業化

一般国道191号(山陰自動車道)益田・田万川道路は、信頼性の高い道路ネットワークの確保、救急医療活動の支援、物流効率化により地域産業を支援を目的とした、山口県萩市下田万から島根県益田市戸田町に至る延長7.1kmの自動車専用道路です。

令和3年度は新規事業として、調査設計に着手します。



## 計画概要

起点	山口県萩市下田万
終点	島根県益田市戸田町
延長	7.1km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線

## 事業経緯

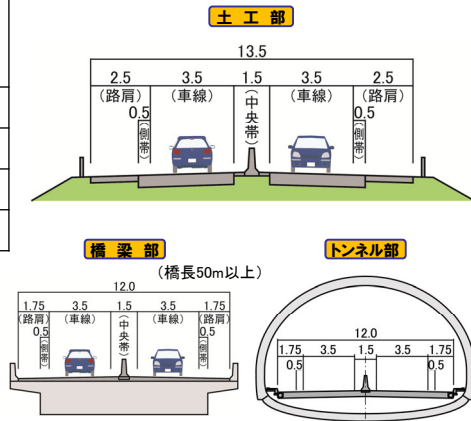
事業化年度	令和3年度
-------	-------

## 地域の課題

急峻な山地を通過し土砂災害警戒区域や河川の浸水想定区域等の災害危険箇所が存在していますが、災害発生時には代替路がないため広域迂回を強いられています。

## 標準断面図

(単位:m)



## 並行現道における浸水発生状況



## 位置図



## 期待される効果 物流効率化による地域産業の支援

島根県唯一の国際港である浜田港には合板生産拠点があり、使用する木材の約3割が九州から輸送されています。

高速道路ネットワークが延伸により九州と浜田港の所要時間が短縮されることで広域連携の強化などが実現し、地域産業の活性化が期待されます。



※H27道路・街路交通情勢調査の混雑時速度より

【現況】現道利用ルート

【整備後】俵山・豊田道路、木与防災、益田・田万川道路、益田西道路、三隅・益田道路利用ルート(完成2車線区間は設計速度80km/h、暫定2車線区間は70km/hで算出)

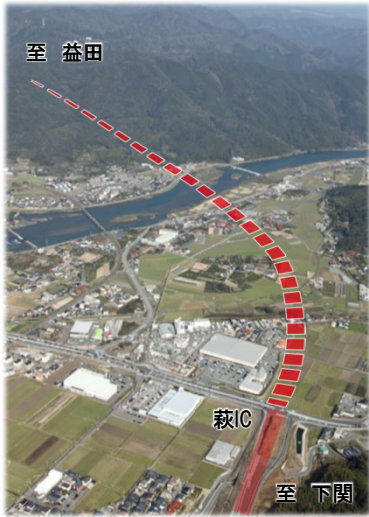




# 大井・萩道路 R3新規事業化

一般国道191号(山陰自動車道)大井・萩道路は、信頼性の高い道路ネットワークの確保、救急医療活動の支援、広域周遊観光の拡大を目的とした、萩市椿から萩市大井に至る延長11.1kmの自動車専用道路です。

令和3年度は新規事業として、調査設計に着手します。



## 計画概要

起点	萩市椿
終点	萩市大井
延長	11.1km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線

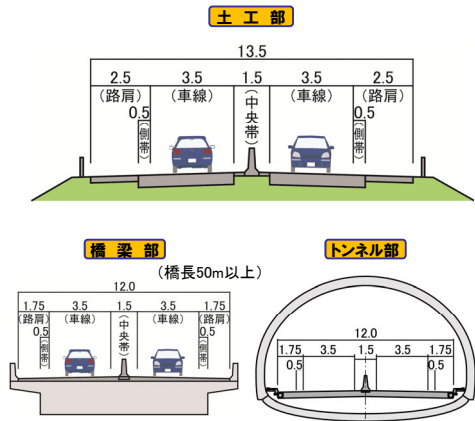
## 事業経緯

事業化年度	令和3年度
-------	-------

## 地域の課題

並行する現道は急峻な山地と海岸に挟まれ越波や法面崩壊などの危険箇所が存在しています。災害発生時には代替路がないため広域迂回を強いられています。

## 標準断面図



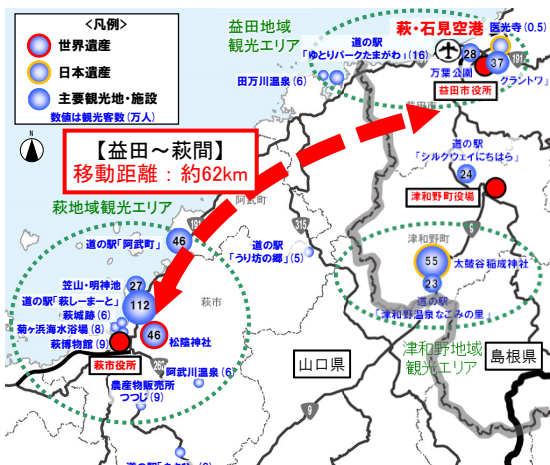
## 並行現道における越波の状況



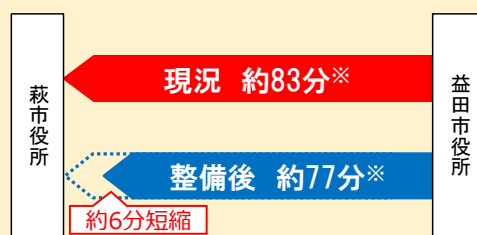
## 位置図



## 期待される効果 観光エリア間のアクセス向上による広域周遊観光の拡大



## 【萩市役所～益田市役所間の所要時間】



※H27道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より

【現況】現道利用ルート

【整備後】大井・萩道路、益田西道路、木与防災利用ルート(対象区間は設計速度80km/hで算出)

山口県と島根県は、萩市、益田市及び津和野町の連携による広域周遊観光の促進に取り組んでいます。道路のサービス水準の向上によって移動時間が短縮されることで、広域周遊観光の拡大が期待されます。



## ■外観



国土交通省中国地方整備局  
山陰西部国道事務所

〒758-0041  
山口県萩市大字江向318番地2  
TEL(0838)21-3910  
FAX(0838)21-3921

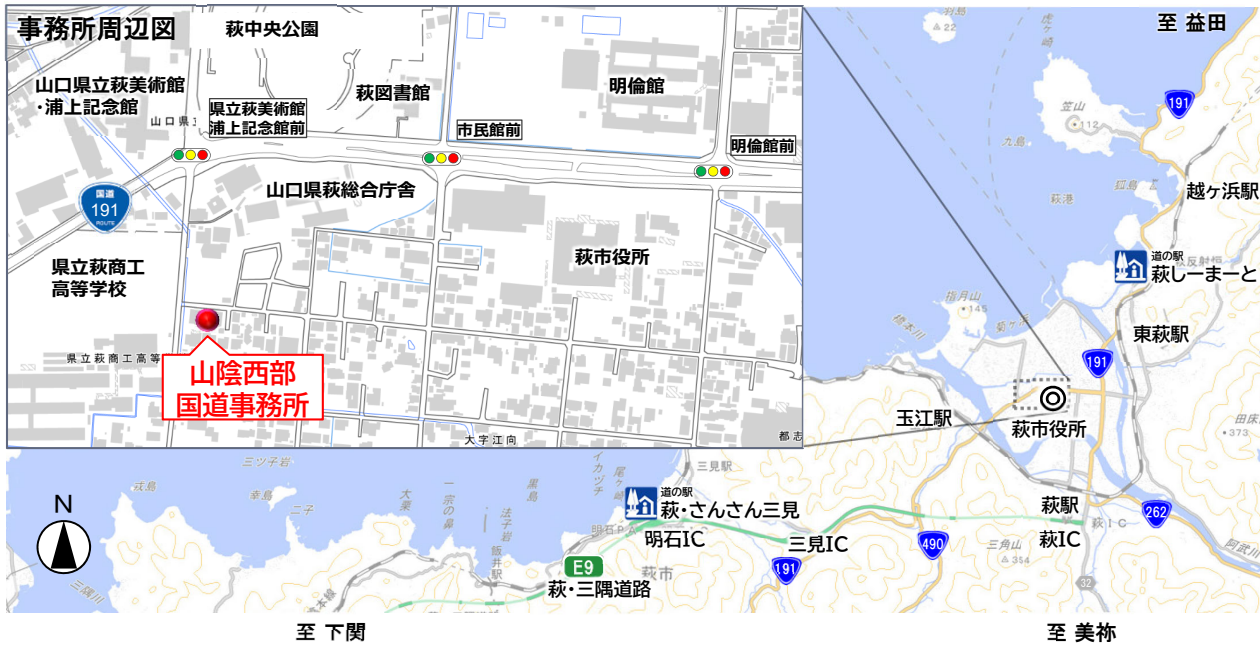
ホームページ

スマートフォン・  
タブレット対応



<http://www.cgr.mlit.go.jp/saninseibu/>

## ■所在地



※国土地理院ウェブサイト「地理院地図(電子国土Web)」をもとに山陰西部国道事務所が加工して作成

道に関する相談に電話1本でお答えします

道路の異状を発見したら

**道**の相談室 受付時間は9:30~17:00  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

**道**路緊急ダイヤル 24時間無料受付

082-222-6274



道路緊急  
ダイヤル  
(無料) #9910

※NTT(固定電話)、携帯電話(NTTドコモ、au、SoftBank)、  
PHS(Y!モバイル)からの通報は無料です。